

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 15 年度第 1 回)

日時 昭和 15 年 3 月 8 日 (金) 午後 5 時開會午後 7 時 30 分閉會

出席者 理事 齋藤 大吉 渡邊 三郎 松下 長久 吉川 晴十
前會長 俵 國一 河村 曉 服部 漸
監事 井上 禮之助 堤 正義
常務委員 三島 徳七 鹽澤 正一
主事 金谷 三松

協議事項

1. 借室期限満了に付契約更新の件 (新期間自昭和 15 年 3 月 1 日至昭和 16 年 2 月末日) 決定
2. 第四回日本工學會大會並に本會第 23 回講演大會及第 25 回通常總會開催に關する諸件決定
3. 入退會者及會員異動

會員異動總計表 (昭和 15 年 2 月 1 日~2 月 29 日)

	名譽員	維持員	賛助員	正會員	准會員	計
入會者數	—	—	1	13	75	89
退會者數	—	1	—	2	5	8
轉格者數	—	—	—	+ 2	- 2	—
現在員數	14	49	22	2,073	1,553	3,711
前期對増減	—	- 1	+ 1	+ 13	+ 63	+ 81

備考

賛助會員加盟者 磨鋼飯及シャリング業者 則武岩松君
維持會員解消者 合併の爲め解消 大阪製鐵株式会社

報告事項

1. 昭和 15 年 2 月末日 (昭和 14 年度末) 現在會計報告 (實算)
 - (1) 資産貸借對照表
 - (2) 收支決算
 - (3) 財産目録
2. 關西支部年度報告 (次號)
3. 電氣製鋼研究會 2 月中の經過報告 (次號)
4. 自動車用鐵鋼材研究會第 3 回座談會報告 (次號)

理事會 (昭和 15 年度第 2 回)

日時 昭和 15 年 4 月 8 日 (月) 午後 5 時開會同 7 時 30 分閉會

出席者 理事 渡邊 三郎 吉川 晴十 井村 竹市 田中 清治
鹽澤 正一
前會長 今泉嘉一郎 俵 國一 河村 曉 服部 漸
監事 堤 正義 松下長久
常務委員 池田 正二 石原善雄 三島徳七 網谷俊平
志村 繁隆
主事 金谷 三松

開會前新會長並に新役員の挨拶次で常務委員委嘱を爲す

協議事項

1. 役員事務分擔の件

決定

分擔事務	理事氏名	常務委員氏名
會長補佐	吉川 晴十	

庶務	井村 竹市	石原 善雄
研究調査	田中 清治	志村 繁隆
會計	鹽澤 正一	網谷 俊平
講演	石田 四郎	池田 正二
編輯	山田良之助	三島 徳七

2. 服部博士記念資金委員會委員推薦

次記の通り推薦決定

委員長 渡邊 三郎君

幹事	井村 竹市君	石田 四郎君	田中 清治君
	山田良之助君	吉川 晴十君	鹽澤 正一君
委員	井上 克巳君	今泉嘉一郎君	長谷川熊彦君
	服部 漸君	本多光太郎君	川上 義弘君
	河村 曉君	景山 齊君	俵 國一君
	村上武次郎君	梅根常三郎君	黒田 泰造君
	松下 長久君	藤井 寛君	荒木 宏君
	齋藤 大吉君	澤村 宏君	水谷 叔彦君
	三島 徳七君	島岡亮太郎君	

3. 日本工學會社員本會代表者並に評議員推薦の件

社員代表兼評議員 渡邊會長に決定

4. 本會第二十四回講演大會開催地選定

決定

開催地 神戸市

期日 (豫定) 10 月 16 日 (水) 電氣製鋼研究部會

第一日 10 月 17 日 (祭木) 講演大會

第二日 10 月 18 日 (金) "

第三日 10 月 19 日 (土) 見學

5. 其他會務に關する件

報告事項

1. 電氣製鋼研究會 3 月中經過報告 (次號)
2. 野田文庫購入圖書 (次號)

評議員會 (昭和 14 年度第 2 回)

日時 昭和 15 年 2 月 21 日 (水) 午後 4 時 30 分開會同 5 時 30 分閉會

會場 社團法人日本鐵鋼協會事務所

出席者 理事 齋藤 大吉 渡邊 三郎 松下 長久 吉川 晴十
前會長 今泉嘉一郎 俵 國一 河村 曉 水谷 叔彦
評議員 島岡亮太郎 金子 恭輔

出席者數	代理委任者	計	總員 (理事, 前會長, 評議員)
10 名	41 名	51 名	71 名

出席監事 堤 正義

常務委員 山田良之助 鹽澤 正一

協議事項

1. 昭和 14 年度收支決算の件 (總會報告に掲載のこと)
2. 昭和 15 年度收支豫算編成の件 (總會報告に掲載すること)
3. 社團法人日本鐵鋼協會定款並に施行細則改正の件
理事會案可決
4. 評議員故磯村豊太郎氏の補缺選舉
當選者 日本製鋼所社長 海軍中將 杉政人君

- 5. 来る四月任期満了監事の候補者選挙決定（就任に於て発表）
- 6. 来る四月任期満了理事並に評議員候補者推薦決定（會員全般へ通知する）
- 7. 次記の表彰牌は従來金製品なりしも爾今銀製に改め之れを本賞とし別に副賞として金一封を添付の件

記

- (1) 服部賞牌 (2) 香村賞牌 (3) 渡邊賞牌

決定原案通り

- 8. 本會内規に依る、渡邊賞、俵賞受領者詮衡審議決定（總會に於て発表）

報告事項

- 1. 本年度の事業状況
- 2. 會員異動

編輯委員會（昭和 14 年度第 11 回）

日時 昭和 15 年 2 月 21 日(水) 午後 5 時開會午後 8 時閉會

出席者 石原 善雄 山田良之助 山口 眞申 齋藤 彌平 鹽澤 正一 俵 信次

協議事項

- 1. 鐵と鋼第 26 年第 4 號上掲論文原稿決定

決定原稿

- (1) 冷間加工後の特殊鋼線に及ぼす低温焼鈍の影響に就て 川崎 正之
- (2) 盛金バイトに就て 小出 秋彦
- (3) 歐米に於ける最近の航空機材料に就て 石田 四郎
- (4) 歐米視察所感 今井 文平

- 2. 鐵と鋼第 26 年第 3 號上掲抄録原稿決定
- 3. 鐵と鋼第 26 年第 2 號及 3 號へ論説原稿追加の件

追加論説

- 茂山鑛山の磁力探鑛に就て（第 2 號） 藤田 義象
- 我國に於けるトーマス製鋼法の開始に就て（第 3 號） 今泉嘉一郎

- 4. 鐵と鋼論文の歐文抄録添削並に歐譯擔當員缺員の處山口編輯委員の推薦にて日本ニッケル時報局員、高見澤榮壽氏を委嘱するの件 決定

- 5. 鐵鋼要覽編纂に関する件
- 6. 大會準備に関する諸件

編輯委員會（昭和 15 年度第 1 回）

日時 昭和 15 年 3 月 20 日(水) 午後 5 時開會同 7 時 30 分閉會

出席者 石田 四郎 田中 清治 俵 信次 山口 眞申 山田良之助 鹽澤 正一

協議事項

- 1. 鐵と鋼第 26 年第 5 號上掲論文原稿決定

決定原稿

- (1) 鐵, アルミニウム, 珪素系平衡状態圖 武田 脩三 六 碯 賢亮
- (2) 高級高速鋼の新しい見方 菊池 麟平
- (3) 學振 19 小委第 5 號 非金屬介在物に依る鋼品位判定方法 俵 國一
- 2. 鐵と鋼第 26 年第 4 號上掲抄録原稿審定

- 3. 其他會務に関する件

服部博士記念資金委員會（昭和 14 年度）

日時 昭和 15 年 2 月 21 日午後 4 時開會同 30 分閉會 會場 社団法人日本鐵鋼協會事務所

出席者 ○委員長 齋藤大吉 ○幹事 松下長久 ○委員 今泉嘉一郎 河村 曉 水谷 叔彦 島岡亮太郎 黒田 泰造

協議事項

- 1. 服部博士記念資金取扱規則第七條の服部賞牌は従來金製なりしも爾今銀製に改め別に副賞を添付するの件

可決

- 2. 服部賞牌及服部賞金受領候補者選定 賞牌 1 名 賞金 9 名（總會に於て発表）
- 3. 昭和 14 年度收支決算並昭和 15 年度收支豫算編成の件以上

社団法人日本鐵鋼協會第 25 回通常總會（詳細は次號狀況報告に掲載）

期日 昭和 15 年 4 月 3 日（祭, 水）午前 11 時 20 分 會場 東京市本郷區本富士町 東京帝國大學法文經第 2 號館 1 階 28 號室

1. 總會

有権者總數	2178 名
出席者 名譽, 贊助, 維持, 正員計	118 名
代理委任者	802 名

開會之辭 日本鐵鋼協會々長 工學博士 齋藤 大吉
開會之辭終つて會長議長席に着き次の議事並に表彰式を行ふ
議 事

- イ. 昭和 14 年度會務報告
- ロ. 昭和 14 年度收支決算報告
- ハ. 昭和 15 年度收支豫算報告
- ニ. 任期満了役員, 會長, 理事, 評議員改選並に新增員評議員選挙（投票・開票）評議員會推薦通り全員當選得票 782 票

決議事項
本會定款並に定款施行細則改正の件

2. 服部賞牌並に服部賞金贈呈式

服部賞牌受領者 株式會社昭和製鋼所技師 工學士 福井 眞君
服部賞金受領者（五十音順）

日本製鐵株式會社八幡製鐵所製鋼部長	井上 愛仁君
工學士 伊能 泰治君	株式會社日本製鋼所室蘭製作所技師 太田 雞一君
南滿洲鐵道株式會社鐵道技術研究所調査役參事	日本製鐵株式會社八幡製鐵所 兒玉 藤八君
	株式會社日本製鋼所室蘭製作所職員 高橋 三平君
	株式會社神戸製鋼所副參事 原 行三君
	株式會社宮製鋼所製鋼部長 藤田 清一君
	日本特殊鋼株式會社鍛造係長技師 堀 半造君
	日本製鐵株式會社八幡製鐵所技師 毛利 英熊君

3. 俵賞金贈呈式

受領者 技術上優秀論文 日本製鐵株式會社八幡製鐵所研究所技師 工學士 大原 久之君

學術上優秀論文

秋田鐵山専門學校教授 工學博士 志村 清次郎君

4. 渡邊賞贈呈式

受領者 東京帝國大學教授 工學博士 吉川 晴十君

講演會 (昭和 15 年第 2 回)

日 時 昭和 15 年 3 月 20 日 (土) 午後 6 時 30 分開會

會 場 帝國鐵道協會會館二階大集會場

講演者並標題

1. 構造用鋼に添加せらるる特殊元素の效果に就て

日本特殊鋼株式会社技師 玉置 正一君

要 旨 ニッケル鋼對他元素含有鋼の性能比較検討を明し時局斯の種資材の自給自足を懇切に説明あつたり (全文は六號)

映 畫

解 說 クルップ會社日本代表者 ワルター・レムケ君

譯 者 鈴木泰次郎君

A. 硫安製造石炭液化等に使用する高壓筒鍛造の狀況 (無聲)

B. 獨逸國歴史の一篇

クルップ工場の 125 年間の發展の狀況 (發聲)

解説の概要 (解説全文次號)

本映畫はクルップ會社 125 年間の發展を通して見たる獨逸歴史の一片を物語るものにして、極めて微々たる個人經營の鍛冶場に始まり遂に世界的名聲を博する一大工業會社に到れる苦闘の歴史を語ると同時に獨逸經濟史及一般獨逸史の一大記録なり。

銀幕に現はるるクルップ製鋼工場發展の經路を簡單なる標語を以てせば次の如きものなり。

1. ナポレオン全盛期及獨逸小邦分立時代よりアドルフ・ヒトラー治下の自主獨立統一國家に到る發達史。
1. 勞働者 4 人を有せる仕事場より 9 萬人の從業者を有する大企業への發展史。
1. 舊式なる水車動力時代より蒸氣機關及電氣動力に到る進化の跡。
1. 原始的な鑄造工場より最新式裝備の製鐵所及製鋼工場に到れる工業變遷史。
1. 製革職人の工具や貨幣鑄造用極印や匙の製造より車輪タイヤや大砲や機關車の生産に及ぶ生産發達史。

以上にして入場者 400 名近くの多數にて大盛況を呈せり。

日本鐵鋼協會關西支部第 2 回總會並第 5 回例會

日 時 昭和 15 年 1 月 27 日 (土) 午後 5 時 30 分より

會 場 軍 人 會 館

出席者 會員 110 名餘 會員外 20 名餘

次 第

1. 懇親會 午後 6 時—7 時 出席者 50 名

2. 總 會 午後 7 時 10 分—7 時 30 分

議 事

(1) 昭和 14 年度決算報告 (鐵と鋼第 5 號に上掲)

(2) 昭和 15 年度豫算審議 (")

(3) 昭和 14 年度事業報告 (")

3. 講演會 午後 7 時 40 分—8 時 30 分

演題及講演者

歐米に於ける最近の航空機材料に就て

東京帝大航空研究所 工博 石田 四郎君

映 畫 午後 8 時 30 分—9 時

日本ニッケル時報局のフォードストリップ壓延工場及モネルメタルの話

以 上

日本鐵鋼協會關西支部第 6 回商議員會

日 時 昭和 15 年 2 月 16 日 (金) 午後 5 時 30 分より

場 所 住友俱樂部

出席者 荒木 宏 高橋 清 廣瀬 亞夫 小森 富作

楠瀬 四郎 室井嘉治馬 長尾 武雄 多賀谷正義

木下泰重(代) 鷲見 桂一(代)

議 事

1. 昭和 15 年度事業豫定に就て

(例會は昨年通り年 5 回開催のこととし下記の通り決定)

5 月例會

日 時 昭和 15 年 5 月 5 日 (日)

見 學 日本製鐵株式会社廣畑製鐵所

講演會 姫路市或は廣畑に於て開催のこと

(當番幹事、井上、藤井、多賀谷外に日鐵及其他より 3 名位委嘱の事)

7 月例會 大阪に於て講演會開催 (當番幹事、在阪幹事)

9 月例會 見學豫定個所 阪大産業科學研究所及堺市自轉車工場其他 (當番幹事 高橋、廣瀬)

11 月例會 見學豫定 尼崎製鐵會社、昭和電極會社等

(當番幹事 小森、川端)

其他臨時事業として高溫度測定の講習會及耐火材料に關する講演、懇談會を開催の豫定 以上

新入會者氏名(自3月1日至3月31日)

居所又は宛名先	勤務先又は職業	會員別	入會者氏名	紹介者
花原區小山町 84/2	東京製鐵會社	正會員	杉山正一君	行村向新金村景瀨小峰阿松金村宮村宮村金村青村居小金村金金石村俊金和東渡井久梅渡玉石井堀上野田見吉田茂金足森辻池村 方松山庄谷松山澤森谷田浦谷松下松谷松木松城松谷松丸谷井松谷田田邊上田根邊置井義髓建之助幸清吉丸陟立三郎壽貞正多武松 畝橋政親三橋正富知甲春三橋格橋格橋三橋熊橋又英三橋陟三義橋三吉金義愛省常三正利夫雄爾二助究吉治治章彰 三太太太十子太之太太太次太太太 太郎三松郎齊雄作雄兒吉松郎助郎助郎松郎雄郎男郎松郎章松雄郎一松彦男雄仁三郎郎一夫雄爾建之助究吉治治章彰 三郎壽貞正多武松
兵庫縣川邊郡立花村塚口字樂馬	栗本鐵工所	"	小谷俊郎君	
兵庫縣飾磨郡廣畑村日鐵廣畑製鐵所	法學士 所長	"	松本芳雄君	
花原區小山町 498 (花原 C,812)	法學士 社長	"	中松眞卿君	
大阪市港區市岡濱通 5/44 (西 5,139)	九州石材工業會社	"	山田豐君	
長岡市城内町 2丁目 (39)	長岡高等工業學校教授	"	小山健藏君	
神戸市林田區東尻池	工學士 所長	"	米樹健治郎君	
川崎重工業會社 製鋼工場	工學士	"	横田秀美君	
福岡縣若松市惠比須通	日立製作所若松工場設計課	"	佐伯榮治君	
日立製作所若松工場 設計課		"	田中淳介君	
千葉縣市川市菅野 212	千葉製鋼會社	"	村上次郎君	
岡山縣和氣郡日生町	東海鐵鋼所	"	澤田荒祐君	
大阪築業耐火煉瓦會社(日生 40,62)	副理事長	"	山際滿壽一君	
西宮市城山 77 (西宮 51)	工學士 東邊道開發會社工作部	"	眞壁昌一君	
蒙疆察南宣化縣城內 龍烟鐵礦會社	工學士 鐵道省工作局局長	"	上野正明君	
新京特別市大同大街 406		"	德永晋作君	
東邊道開發會社 工作部		"	堀澤佐一郎君	
朝鮮城津邑, 日本高周波重工業會社	滿鐵大連鐵道工場 第三作業長	"	一條養太郎君	
世田ヶ谷區北澤 4/503	法學士 株式會社 昭和製鐵所理事長	"	小日山直登君	
兵庫縣川邊郡園田村南清水	理學士 日本特殊鋼會社	准會員	岩波常男君	
日本銑鐵鋼業株式會社	工學士	"	黑田久仁男君	
大連市霞町, 滿鐵大連鐵道工場	M・S 大阪金屬工業會社堺工場熱處理工場	"	公文幸夫君	
滿洲國鞍山市中臺町 2	日本砂鐵鋼業會社 高砂工場	"	大仲武治君	
淀橋區戸塚町 3/167	東京工大機工在學	"	佐藤進君	
朝鮮城津邑 日本高周波重工業會社社宅	特殊製鋼會社	"	大島一郎君	
朝鮮咸鏡北道城津邑 日本高周波重工業會社 社宅	滿洲金屬工業會社 鋼管製造所	"	美濃部喜一君	
堺市幸通 4/46	興亞學院在學	"	富田誠君	
兵庫縣加古郡荒井村字荒井	日本高周波重工業會社 富山工場	"	財津國吉君	
荒川區町屋 2/288	東邊道開發會社工作課	"	高木正美君	
品川區南品川 4/563	關東特殊製鋼會社 熱處理部	"	緒方義隆君	
鞍山市南八條町 17 住友日新寮	" 製造部	"	藤井收藏君	
赤坂區青山高木町 2	工學士 トヨタ自動車會社芝浦工場	"	小島敏三郎君	
富山縣射水郡新湊町獅子繪田 1,560	中山製鋼所銑鐵部 熔鑄課	"	久保田國衛君	
新京特別市大同大街 406	早大在學	"	菊池正君	
東邊道開發會社工作課		"	上田隆治君	
神奈川縣藤澤町辻堂 1,110	研究課	"	安室信平君	
關東特殊製鋼會社		"	山本忠次君	
"		"	郷内清君	
世田ヶ谷區東玉川町 8	研究部	"	西川正雄君	
大阪市住吉區北賀屋町 58/5		"	山田正君	
牛込區戸山町 22 一色チエ方				
島根縣安來町 日立製作所安來工場海軍監督官事務室				
長崎市茂里町 40 三菱兵器製作所				
朝鮮咸鏡北道城津 日本高周波重工業會社研究課				
朝鮮咸鏡北道城津 日本高周波重工業會社研究課				
名古屋市南區星崎町 大同製鋼會社内				

新潟縣古志郡上組村宮内	長岡高等工業學校機械教室	准會員	鷺田 正君	阿刀田 甲子兒
横濱市中區久保町 1	東京製鐵會社横濱工場	"	井上 政次君	村松 楠太郎
神戸市神戸區元町 1ノ24 (三宮2, 118)	化學器械店	"	井上 嘉章君	高瀬 孝夫
秋田市東根小屋町 14 松野貞方	秋田鐵山専門學校在學	"	川口 信彦君	志村 清次郎
横濱市鶴見區生麥町神明前	熔鋼工場	"	西脇 正一君	立山 重紀
昭和特殊製鋼會社	"	"	後藤 忠一君	"
世田ヶ谷區玉川等々力町 2ノ1702	三菱重工業會社東京機器製作所	"	山岸 勳君	小林 利夫
愛知縣西加茂郡譽町字下市場	トヨタ自動車工業會社	"	久米 俊一君	伊藤 省吾
トヨタアパート 52 號	自動車研究課	"	徳田 幸三君	茂木 吉治
富山縣射水郡新湊町長徳寺町	日本高周波重工業會社	"	萩原 寛君	柴田 晴彦
新道 160ノ1 奈田精一方	製鋼課	"	高橋 三平君	近藤 八三
下谷區金杉 2丁目 7ノ4	鐵道大臣官房研究所第二課	"	堀口 三郎君	茂木 吉治
室蘭市御前水町社宅 1, 017 號	日本製鋼所室蘭製作所	"	長谷部 一郎君	岡島 奈良藏
富山縣射水郡新湊町 2ノ9	日本高周波重工業會社	"		
大阪市東成區猪飼野大通 2ノ17	富山工場	"		
東洋鋳物會社	工場副主任	"		

第四回日本工學會大會

總會

4月2日(火) 午前 9.00 開會

會場 東京帝國大學大講堂

開會の辭 日本工學會理事長 依國 一
 祝辭
 議事

十六學會代表講演(各15分)

本邦鑛業の現在と將來 日本鑛業會々長 今井喜代志
 本邦建築界の現状 建築學會々長 内田祥三
 (電氣のこと) 電氣學會々長 八木秀次
 最近に於ける本邦造船界の回顧 造船協會々長 重光 茂
 機械工業進歩の趨勢 日本機械學會々長 山下興家
 最近我國化學工業の進歩 工業化學會々長 喜多源逸
 最近の火兵界 火兵學會々長 米村敬郎
 本邦土木事業の現況 土木學會々長 中村謙一

最近に於ける鐵鋼業の進歩發達

日本鐵鋼協會々長 齋藤大吉

最近に於ける照明科學界の動向

照明學會々長 密田良太郎

搬送多重通信と極超短波通信の發達

電氣通信學會々長 拔山平一

衛生工業界最近の狀況 衛生工業協會々長 北浦重之

鑄物の良品廉價製造對策 日本鑄物協會々長 石川登喜治

冷凍界の大勢 日本冷凍協會々長 加茂正雄

現下時局と熔接問題 熔接協會々長 内藤多伸

最近に於ける金屬學界の發達に就て

日本金屬學會々長 本多光太郎

閉會の辭 第四回日本工學會大會委員長 佐野秀之助

晚餐會

日時 4月2日(火) 午後 6.30 開宴

會場 上野精養軒

鐵鋼協會々員出席數 22名

工業展覽會

國産を主とせる優良なる機械、器具、材料類其他研究參考資料等多數出品せらる。

會場 東京帝國大學構内

期日 4月2日、3日、4日、の3日間、午前9時より4日は午後6時、2日、3日は午後4時迄

日本鐵鋼協會第23回講演大會

(第四回日本工學會大會第15部會B)

第1日(工學會大會第2日)

昭和15年4月3日(水祭) 午前9時開會

東京本郷區本富士町 東京帝國大學法文經第2號館文科第28號室に於て

開會の辭

日本鐵鋼協會々長 工學博士 齋藤大吉君

挨拶終つて會場2部に分つ

第1會場を 法文經第2號館文科 28號室 280名收容

第2會場を 同 同 31號室 190名收容

兩會場共午前9時より午後6時迄 講演 26題を演了す

第2日

昭和15年4月4日(木)

本日も前日同様2部にて午前9時開會午後1時閉會、

講演 14題演了 前日と合計 40題を順調に完了し終會となれり

今大會々員出席者數は600名位なるも工學會參加團體の會員の聴講願る多數にて終始會場超満員の盛況と呈せり殊に第2會場は150名の收容力しかないので廊下迄充滿し誠に御氣の毒に堪へなかつた。